



私の
東京物語

全 10 話

5

ずつと東京で育っても、大学で初めて出てきても、今の僕はなかったでしょう。小学一年生までの東京と、高校卒業までの信州。その往復のタイミンが、「田中康夫」を作り上げた気がします。

田中 康夫
たなか やすお

高度経済成長が一段落した一九七五(昭和五十)年、お茶ノ水の駿台高等予備校に通います。河合塾の「東大オープン」模試で、たまたま英語が全国三番。「文科Ⅱ類ならば合格確実」と託宣され、図に乗って現役受験したら、マークシート形式の一次試験で見事に敗退。マニユアル的思考が苦手なんですわ。

総武線下総中山駅近くの駿台中山寮に

お茶ノ水の予備校通い



それなりに勉強もしたが…

入寮。後にNHK「ゆく年くる年」で中継された際、在寮した浪人生として中村雅俊さんと僕が紹介されました。

それなりに勉強もしましたが、数寄屋橋のソニービルの上で開催されたVANジャケットのセールに出掛けたり、歌舞伎町に誕生したカンタベリーハウスギリシャ館でデイスコを初体験したり。前年に亡くなった映画監督・山本嘉次郎氏の「たべあるき東京 横浜 鎌倉地図」を愛読する、「田中康夫」の萌芽期でもありました。

翌春、一橋大学法学部に合格。絹糸の片倉工業が運営していた明道館という吉祥寺東町の寮に移ります。

(作家)